



南犬飼中だより

建学の精神「向い原魂」

□物事をまじめに根気よく続けよ
□自発的实践活動を続けよ

【新制服ミニチュア版】

来年度入学する新1年生から着用する新制服が、1月14日～2月14日まで壬生町役場に展示されました。また、本校でも、新制服のミニチュア版を展示しています。新制服と同じ本物の生地を採用しており、とても見応えのある可愛らしいミニチュア版です。来校時に是非ご覧ください。



【生徒会活動 Long 昼休み企画】

1月22日(水)、生徒会活動 Long 昼休み企画を実施しました。今回は、「卒業する3年生に感謝の心をこめ、交流を深め、卒業生へ感謝の心を見せること」、「2年生が主導となり、企画から運営までを行う過程を通して、リーダーシップと参加する学級の生徒のメンバーシップの育成を行う」、「2年生が3年生となるための土台作りをする」この3つが主な目的です。生徒達は、1年生から3年生までの縦割り班に分かれ、校庭や中庭、体育館の3か所で活動しました。内容は「ケイドロ」、「言うこと一緒」、「中線ふみ」などです。当日は、天候にも恵まれ、校庭一杯に歓喜と笑顔が満ち溢れ、「幸せな時間」が共有できました。



【立志式】

1月23日(木)、第2学年生徒、保護者、関係職員が参列し、立志式を行いました。県知事からのお祝いのメッセージ、代表生徒による作文発表、全生徒による誓いの言葉、記念合唱など盛りだくさんの内容でした。特に、全生徒による誓いの言葉は、マイクを使わずに、生の声で堂々と発表する姿に感動しました。また、2年生全生徒で歌った記念合唱「僕のこと」では、素敵な歌詞と素敵なメロディーが体育館いっぱいに広がり、聴いていた保護者や職員に想いを届けました。最後に、生まれたときから、これまでの生き立ちをまとめたスライドショーでは、懐かしい写真と共に添えられた暖かいメッセージに感動しました。

スライドショーの中に、親からのメッセージに添えられた「元気に生まれてきてくれて、ありがとう」の言葉に、自然と涙を拭いている保護者がとても印象的でした。メッセージにはありませんでしたが、これを見た生徒からは、「生んでくれて、ありがとう」と心の中で大きく叫んでいたように思えてなりません。



【授業参観、子育て親育ち講演会】

1月31日(金)、5校時目に授業参観があり、多くの保護者が来校しました。本年度、最後の授業参観となりましたが、各教室や特別教室での授業を参観していただきました。生徒は、少し緊張しながらも、普段と同じように意欲的に授業に取り組んでいました。

また、授業参観後は、全生徒と保護者を対象に、子育て・親育ち講座を開催しました。講師は、作新学院大学経営学部スポーツマネジメント学科教授の笠原彰先生で、『「ストレス知らずの受験生に」親子で学ぶ中学生のメンタルマネジメン

ト』という演題でご講話いただきました。実際のストレス解消法には、日々の習慣化が必要であることなど、受験を控えている生徒には、何ともタイムリーな内容でした。生徒からの「挫折はどのくらいあったのか?」「ストレス解消のコツは?」などの質問に、先生自身の実体験から丁寧に説明していただくなど、生徒目線で分かりやすい説明に、生徒もととても納得していました。



講師の笠原彰先生

【ペットボトル回収へのご協力に感謝】

本校 PTA では、保護者が来校する機会を活用して、ペットボトル回収を計画的に実施しております。1月31日(金)に実施した授業参観でも、参加していただいた保護者にご協力いただき、たくさんのペットボトルを回収することができました。本当にありがとうございました。是非、生徒達の健全な教育活動に有効に生かしていきたいと思ひます。



【犬中あいさつの日】

2月5日(水)、今年度最後の「あいさつ運動」を実施しました。これは、生徒会が主体となって企画したもので、「このあいさつ運動で、今年度のあいさつ運動がラストになります!さわやかなあいさつで活気のある犬中を自分たちの手でつくっていきましょう!」というスローガン付きの啓発ポスターを作成するなど、盛大に実施されま

した。

今回は、東門前にサッカー部、北門前に女子ソフトテニス部、昇降口前に男子バスケットボール部と剣道部、2年自転車置き場前に吹奏楽部がそれぞれ配置され、早朝から爽やかなあいさつが響き渡りました。この企画のおかげで、学校全体が気持ちよくスタートできる気分になりました。



校長室より

「～なぜ、月面では、100 kg超えの宇宙服を着て、軽々と動けるの?～」

2月4日(火)2校時、1年2組理科の授業では、「重さと質量」について学んでいました。宇宙服は、特殊な素材で作られたもので、重さは約100Kgもあるそうです。先生から生徒にこんな質問がありました。「なぜ、月面では、100 kg超えの宇宙服を着て、軽々と動くことができるのだろうか?」

面白い課題です。我々大人にとっては、当たり前と思えることでも、いざ理論的に説明することとなるとなかなか難しいものです。生徒は質量と重力という言葉を使って、真剣に考えていました。

ご存じの通り、重さは「物体にはたらく重力の大きさ」を表し、質量は「物体そのものの量の大きさ」を表します。同じ物体であっても、重力の関係で「軽く感じる、重く感じる」という感じ方の違いを指す言葉が「重さ」です。地球では、「1Nは質量約100gの物体にはたらく重力の大きさ」と定義されています。重力は地球が物体を引く力によって生まれるものなので、月面では重さは変わります。重力は、月面では地球上での6分の1になることは有名な話ですね。